

【資料No.2】意見交換会(7月20日)での意見一覧

		頁数	目標	基本方針	基本計画	方向性	意見の趣旨	意見	回答	計画への反映
1	発表	3	計画の期間				国の制度変更に対する対応	国の方で子育てに関する制度が改正された。このように国の制度は変更になれば、今策定する計画とずれが生じてくるのではないか。	国の制度が変更になった場合は、計画の期間中であっても見直しを行います。	計画の期間
2	発表	3	計画の期間				計画の期間	計画期間の6年間は長いのではないか。	本計画は第4期障がい福祉計画を前期、第5次障がい福祉計画を後期としており、前期終了後、見直しを行います。	計画の期間
3	発表	17	I	1	(2)	①	第1次・2次計画からの課題 当事者からの意見	今回の策定は第3次計画だが、第1次や第2次での課題や宿題はあるのか。また、実際に障がいのある人からはどんな意見があったか。	前の計画からの課題としては、短期入所や日中一時などの緊急時の受け入れ先の不足があり、当事者からの意見としても出ている。また、当事者からの意見としては、身近なところで専門的な相談を受けられるようにとの意見も出ている。	総合的な相談支援体制の充実
		20		2	(1)	①				身近な地域での相談推進 障害福祉サービス等の充実
4	発表	16	I	1	(1)	②	情報提供について 当事者からの視点	情報提供については、市や国から提供されるものだけと思いがちだが、障がいのある当事者からも発する情報もある。双方向の情報であるべきである。また、当事者の側から計画の基本方針を考えるべきではないか。	意見としての発言なので回答は行いませんでした。	情報を活用する意識づくりの推進
5	アンケート	17	I	1	(2)	②		今私が住んでいるフェアハウスでとても困っている人がいます。その人を助けたいのが私の願いです。大切な人がこわれていくのを見たくありません。わかりますか？私たちが身近で見えてもわからない人が多すぎます。毎日泣いています。	アンケートの意見	ケアマネジメントの充実
6	発表	20	I	2	(1)	①	支援体制の整備	3次計画を進めていく中で、支援する側の体制は整っているのか。	支援側の受け入れ体制はまだ十分とは言えないので、関係者とも協力して人材確保に努めていきます。	障害福祉サービス等の充実
7	アンケート	20	I	2	(1)	①	人材確保	放課後や長期休業中の活動の場の確保ですが、通常の業務にあわせて職員配置の中にさらに近隣からそのときだけ子どもたちがあつまるので職員さんの手がまわるのか、非常に気になっています。	アンケートの意見	障害福祉サービス等の充実
		31	II	3	(2)	②				日中一時支援事業等障害福祉サービスの充実
8	発表	29	II	2	(2)	②	療育について	伊賀市では30年前から子どもの療育保育の施設ができています。今後も、伊賀市にある施設を活用して、行政・事業所・当事者および保護者が一緒になって療育を進めていってほしい。	意見としての発言なので回答は行いませんでした。	専門機関等との連携強化
9	アンケート	26	II	1	(1)	③	教育と福祉の連携	目標Ⅱ“生涯を通じて社会参加できる共生のしくみをつくる”の基本方針3の学齢期の子ども教育・療育の推進における、教育と福祉の連携を拡大していくことが望ましいと思います。学校と福祉がそれぞれの視点で1人の子どもを多角的に見ることでその子のことがより理解され、途切れのない支援が行えると思います。	アンケートの意見	地域の学校との連携強化
		31	II	3	(1)	③				特別支援学校や専門機関等との連携強化
10	発表	39	III	1	(1)	①	障がい者差別について	アンケートの結果では、まだ差別を感じている当事者が4割ほどいる。第3次計画では「障がい者に対する差別をどうなくしていくか。」という問題が大事である。	アンケートの中でも差別経験があると答えた人の割合は多い。「障害者差別解消法」も成立し、今後国の基本方針も策定される。市としても取り組んでいく。	障がいのある人の人権に関する理解と認識の啓発
11	アンケート	39	III	1	(1)	②	官民共同の取り組み 権利条約の反映	今は、計画を立てることが多くなりすぎて、計画作成が本来業務になってしまっているように感じます。行政だけでなく、官民共働で取り組んでいけると良いと思います。障がい者権利条約の内容を反映させて下さい。施策にも取り組みにも。	アンケートの意見	障がいを理由とする差別の解消の推進
12	アンケート	39	III	1	(1)	①	啓発活動	啓発活動に尽きますね。	アンケートの意見	障がいのある人の人権に関する理解と認識の啓発
13	アンケート	39	III	1	(1)	②	障がい者差別について	差別解消に基づく、市の取り組みを具体的に提示してほしい。他県、他市の条例等も参考にしてもらいたいのではないかと思う。	アンケートの意見	障がいを理由とする差別の解消の推進
14	発表	42	III	2	(1)	②	情報保障	最近、市議会で「手話言語法」の推進に関する請願が採択されたが、計画の中にも手話言語法に近いような内容を盛り込んでもらえたらと思う。	情報保障については、ユニバーサルデザイン事業の推進として計画に盛り込んでいく。また、手話通訳者等の養成もしていかなければならない。	情報のユニバーサルデザイン化の推進
15	発表	42	III	2	(1)	②	情報保障	最近、市の手話の音楽会で手話通訳が付いていないということがあった。幸い、ボランティアで通訳してもらうことができたが、今後、このような事が無いよう「手話通訳条例」を策定してもらえるとよい。	講演会等の情報保障について、庁内の関係各課に理解を求めていきます。	情報のユニバーサルデザイン化の推進
16	発表	42	III	2	(1)	②	情報保障	聴覚に障がいのある人は、健常者よりも情報が足りない。「知る権利」もあると思うので、健常者と同等に情報提供してもらいたい。聴覚に障がいのある人の情報保障についてはどのように計画に盛り込まれるのか。	情報保障については、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進の中の、「情報のユニバーサルデザイン化の推進」として盛り込んでいきます。	情報のユニバーサルデザイン化の推進

【資料No.2】意見交換会(7月20日)での意見一覧

		頁数	目標	基本方針	基本計画	方向性	意見の趣旨	意見	回答	計画への反映
17	アンケート	42	Ⅲ	2	(1)	②	情報保障	先日、大山田での人権の講演会に参加させて頂きました。その講演会では、講師がろう者の両親に育てられたコーダでもあるにもかかわらず、手話通訳がついていませんでした。その日は、ろう者が多数来ていました。幸い通訳者が参加していて急遽、ボランティアで通訳されていて事なきを得たのですが、人権の話でありながら、このような事態は大変腹立たしく思いました。今後はぜひとも通訳をつけるよう配慮して頂きたいと思えます。	アンケートの意見	情報のユニバーサルデザイン化の推進
18	発表	43	Ⅲ	2	(3)	②	防災体制について	防災についての内容が少ないように思う。今後、防災について考えていく必要がある。	今後は災害に対する支援体制づくりが重要と考えていますので、計画の中にも盛り込んでいきます。	災害時の支援体制づくりの推進
19	発表	43	Ⅲ	2	(3)	③	災害時の対応について	災害の際に、聴覚障がい者は外見では分かりにくい。そのようなときに、聴覚障がい者だとわかるような工夫等をしてもらえれば。	災害時の配慮については、当事者の方からの意見もいただきながら一緒に検討していきたいと思えます。	障がいに配慮した避難所の確保と避難所での生活支援の推進
20	アンケート	43	Ⅲ	2	(3)	③	災害時の対応について	いろいろな立場の方から意見を聞いて大変参考になりました。聴覚障害者の方への配慮も大切ながら、精神障がいの方は災害時ほど大変だと思います。	アンケートの意見	障がいに配慮した避難所の確保と避難所での生活支援の推進
21	発表	44	計画推進のための取り組み				計画の具体化	障がい者福祉計画の中には具体的な細かいところまでは落とし込めないで、計画の中身を具体化していく手立てが必要である。毎年度、具体化する前に当事者や関係者の話を聞く機会を持つということを計画の中に入れてはどうか。また、このような意見交換会で計画のチェックをするように計画の推進体制に入れてもらいたい。	自立支援協議会には当事者も参加していただき、関係団体への会議へ参加するなど当事者や関係者の意見を聞く機会があるので、毎年意見交換会を開催するかどうかは今後検討します。	計画推進のための取り組み
22	発表	44	計画推進のための取り組み				計画の評価	1次・2次計画がどの段階まで進んでいるのか、どの段階まで出来ていないのかという評価が出ていないのではないかと。	前の計画の進捗管理及び評価は自立支援協議会で行っている。	計画推進のための取り組み
23	発表	44	計画推進のための取り組み				庁内推進委員会	庁内推進委員会の役割は?	市として計画に基づいた事業を進めるため、庁内の関係各課集まって協議を行う場です。	計画推進のための取り組み
24	発表	44	計画推進のための取り組み				PDCAサイクルについて	行政は「PDCA」サイクルで「アクション」ばかり言っているが、現在は「PDCS」の「スタディ」に変わってきている。	国の基本方針もPDCAサイクルとしているので、市としてもPDCAサイクルで計画を推進します。	計画推進のための取り組み
25	発表	44	計画推進のための取り組み				自立支援協議会の役割	「自立支援協議会の役割」として、「計画の評価をしていく場」ということを具体的に記入することが必要である。	いただいた意見を参考にして計画に盛り込んでいきます。	計画推進のための取り組み
26	発表	44	計画推進のための取り組み				計画推進のための取り組み	「計画推進のための取り組み」のなかで、策定委員会と自立支援協議会の関係はどうなっているのか。また、「事業を実施する体制の確保」の事業とはどんな事業か。「障がい者福祉の拠点」とはどんなものか。	策定委員会は計画を策定するための委員会で、自立支援協議会はそれとは別に障がい福祉に関する地域課題を協議する場であり、本会議とは別に4つの専門部会がある。自立支援協議会では計画の新徳管理・評価も行っています。「事業」は計画に基づき関係各課で行う事業です。「障がい福祉の拠点」は今後整備していく必要がある「基幹相談支援センター」です。	計画推進のための取り組み
27	アンケート	44	計画推進のための取り組み				市民参加の体制	福祉計画(骨子案)は、立派なものです。市民参加(支援者)のできる体制構築が重要だと考えます。	アンケートの意見	計画推進のための取り組み
28	アンケート	44	計画推進のための取り組み				各課での取り組みの充実	策定にあたる人材と時間、情報、全てが弱者を一番に考え、真面目で熱心な取り組みであったと思われれます。ただの理想だけでない、奥深い策定であったと思えます。後は、各課での充実した取り組みで表現される訳ですの、よろしく願います。	アンケートの意見	計画推進のための取り組み
29	アンケート	44	計画推進のための取り組み				協働のしくみづくり	今回の意見交換会で良かった事は、たくさん意見が出たこと。内身の深い計画策定内容を実践するためには、当事者や団体の協力を得る協働できるしくみ作りがあると一つ一つの課題を解決する手段になるのではないかと思いました。一つでも早期実現できる項目が多くなることを強く思えます。	アンケートの意見	計画推進のための取り組み
30	発表						県議会への提出	本計画は市議会へ上程するとなっているが、県議会にはどうか。	市の計画なので、県議会には提出しません。	—
31	発表						計画の推進・周知について	本日の意見交換会は計画を策定するためのものなのか。今日の資料の段階では「だれがやるのか。どうやって市民に周知するのか。」などが書かれていない。	本日の意見交換会は計画策定のためのもので、意見交換会での意見などを基に今後、具体的な内容を盛り込んだ中間案を策定していきます。	—
32	発表						計画への意見反映について	意見交換会やパブリックコメントについて、そこで出された意見をどのように計画に反映したかということが市民に示されていない。	パブリックコメントに対する回答は市のHPに掲載します。	—

【資料No.2】意見交換会(7月20日)での意見一覧

		頁数	目標	基本方針	基本計画	方向性	意見の趣旨	意見	回答	計画への反映
33	アンケート			—			意見の反映の説明	評価(第1次、2次も含めて)について、市民への提示していくこと、アンケートや意見について、どのように計画に反映されているかとわかりやすく、説明が必要と思われる。	アンケートの意見	—
34	アンケート			—			当事者からの意見を聞く	意見の中に、当事者に対してこの計画が届いているのか、自分たちの声がきいてもらえているのか等、言っていただいていたと思います。このことを基に当事者が声をきくこと、その機会を作ってもらわなければならないと思います。	アンケートの意見	—
35	アンケート			—			実現可能な計画策定	計画の策定スケジュール、内容がよくわかりました。国の施策を守りながら、市に合わせた計画を立てて考えることは難しいと思いますが、できるだけ実現可能な計画策定をおねがいします。	アンケートの意見	—
36	アンケート			—			伊賀市独自の計画	伊賀市としての計画を示して下さい。	アンケートの意見	—
37	アンケート			—			実行性のある計画を	立派な基本計画も実行性が共なって行かねば絵に画いた物ではない！計画の為の計画は形骸化している。如何にも障害課、行政として立案している正統性を固持されている様に見える、伺える。残念。	アンケートの意見	—
38	アンケート			—			達成できる計画を	当事者の方の声をよく聞いてほしい。一つずつ達成できる計画を伊賀市独自なものがあるとよい。	アンケートの意見	—
39	アンケート			—			わかりやすい文章	1日も早くよい計画案が出来るよう一市民として勉強したいと思います。なるべく市民がわかる文章にしていきたいと思います。	アンケートの意見	—
40	アンケート			—			障がい者の意見を聞く	障がい者の方の本音を聞いて欲しかった。表面的な会になって実りのない会であった様な気がする。	アンケートの意見	—
41	アンケート			—				今回の説明と話し合いだけでは、わからないことが多くありましたので、今後、様々な会議、集会等で勉強していきたいと思います。	アンケートの意見	—
42	アンケート			—			パブリックコメント	障害者手帳を持っている人にパブリックの件について連絡して下さい。10月に待っています。	アンケートの意見	—
43	アンケート			—			意見の反映	多くの意見があった。計画に反映するように。	アンケートの意見	—
44	アンケート			—				障害とのつながりが大変だと思います。	アンケートの意見	—
45	アンケート			—				障がい者福祉計画骨子案、なにも言うことはありません。良いと思います。	アンケートの意見	—
46	アンケート			—			障がい福祉の向上	さまざまな計画がされ、充実していく現実を障害者も一般市民も広く知られるよう願います。ホームページを活用したり、すべてを行動(アクション)を起こすためには、まず計画から入らねばならない。あわてず、しっかりしたものにしてほしい。広い市民が、関心を持ち障害福祉がさらに向上することを願う。	アンケートの意見	—
47	アンケート			—			わかりやすい内容	福祉事業に少しかわりを持っている者にとっては、活字だけでは事業内容が良く理解出来ないのが現状です。	アンケートの意見	—